



震度7クラス対応

型番
BBS-N1054BG

プロセブン ベルトストッパー ボンベ用

取扱説明書

⚠ 使用上の注意 ⚠

- マット設置面積が不十分な場合、十分な粘着力が得られません。
- 設置面がマットと全面粘着するようにしてください。
- 設置面が弱い物、ヒビ、キズがあるものはダメージを与える可能性があります。
- 取り外し後、材質によっては、設置場所と周辺に差が生じる場合があります。
- 本製品で物を吊り下げないでください。
- 経年変化により変色する場合がありますが、基本性能には問題ありません。
- 耐用年数は8年～10年になります。
- 50℃以上かつ湿度60%以上の環境下では耐用年数が短くなる場合があります。
- 対象物重量が70kg以下でもセット数が不十分な場合は、十分に効果が発揮されないおそれがあります。
- 対象物が動くもの（キャスター付きなど）に設置するとベルトに強いテンションがかかりマットが剥がれるおそれがあります。

⚠ 本製品は地震、転倒の被害を最小限におさえるための製品です。本製品使用により発生した損害事故や、地震による損害に対して責任を負うものではありません。

セット内容	キャッチプレート 4個	DCバックル付ベルト 4本	設置日 シール 1枚
	樹脂バックル 2個	マット 4枚 (50x100x5mm)	

使用条件

高圧ガス容器 (3.4L～47L・70kg迄)
最大径φ232mm 最大高さ1500mm

お使いいただく前に 使用確認方法

設置面にセロハンテープが粘着すれば、使用可能です。

使用できないもの フッ素加工製品、シリコン製品、撥水加工(処理)製品、防汚加工製品
クロス(壁紙)、土壁、しっくい、珪藻土

Safety & Security

製造 発売元 **プロセブン株式会社**

本社 〒542-0081
大阪府大阪市中央区南船場1丁目3-5 リプロ南船場2F
TEL: (06) 6261-3800
FAX: (06) 6261-3801

URL <https://www.pro-7.co.jp/>

はプロセブン株式会社の登録商標です。

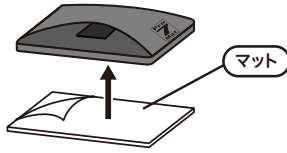
袋:PP 本紙

MADE IN JAPAN

設置方法

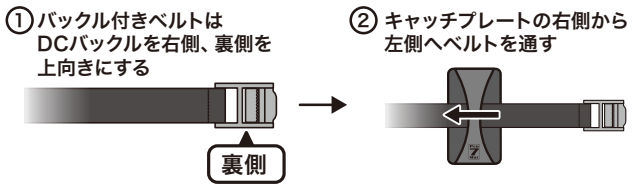
※付属のプレート、設置場所のホコリ、汚れを拭き取ってください。
※水拭き等をされる場合は乾いてからご使用ください。

- 1 マットの保護フィルムを片面のみ剥がし全てのキャッチプレートの裏面に貼ります。
※マットを無理に伸ばして貼り付けしないでください。

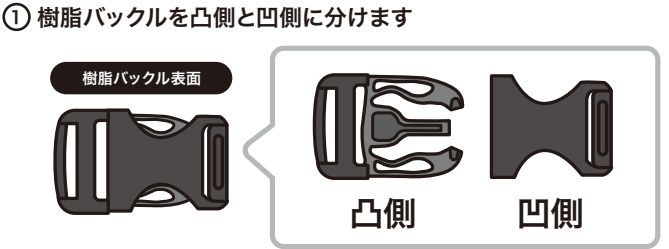


まずボンベの右側に設置するベルトストッパーを作成します。

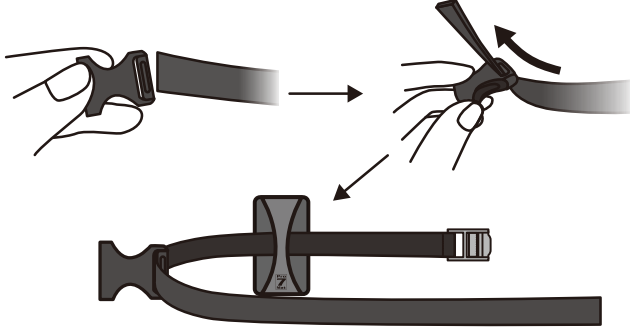
- 2 図のようにキャッチプレートにベルトを通します。



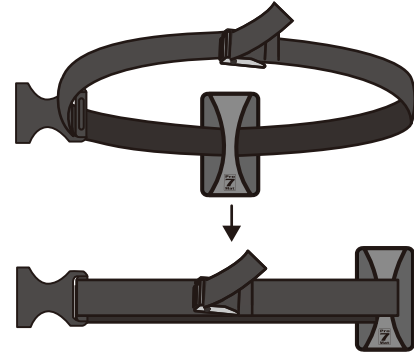
- 3 2のDCバックルが付いていない側に樹脂バックルを通します。



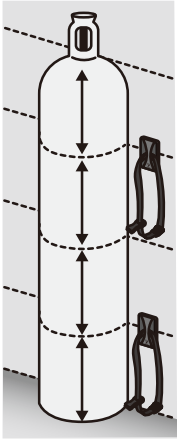
- 2 凹側の樹脂バックルを、表面が上を向くように持ちます。ベルトを、樹脂バックルの裏側から表側に向かって通します。



- 4 DCバックルにベルトを通して、ボンベ右側に設置するベルトストッパーが完成です。



- 5 ④で完成したキャッチプレートをボンベ右側の壁に貼り付けます。



マットの保護フィルムをはがし、壁にはりつけます。



粘着を安定させるためベルトにたるみがある状態のまま1時間はふれないでください。

【貼り付け位置】
ボンベの高さに対して、
1本目は3/4の位置
2本目は1/4の位置
に貼り付けます。

次に、ボンベの左側に設置するベルトストッパーを作成します。

- 6 左側も同様にキャッチプレートにベルトを通す。

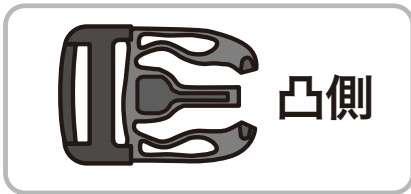
- ① バックル付きベルトはDCバックルを左側、裏側を上向きにする

- ② キャッチプレートの左側から右側へベルトを通す

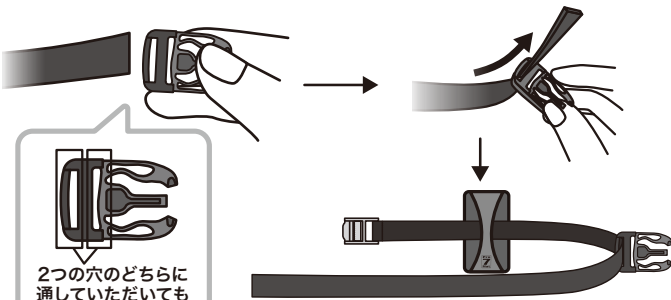


- 7 ⑥のDCバックルが付いていない側に樹脂バックルを通します。

- ① ③で残った樹脂バックルを用意します。

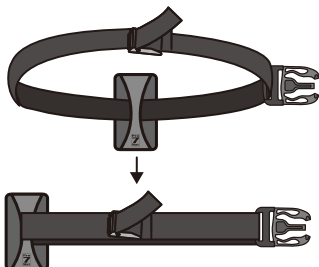


- ② 凸側の樹脂バックルを、表面が上を向くように持ちます。ベルトを、樹脂バックルの裏側から表側に向かって通します。



2つの穴のどちらに通していただいても問題ございません。

- 8 DCバックルにベルトを通して、ボンベ左側に設置するベルトストッパーが完成です。



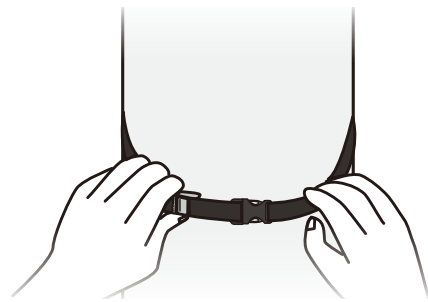
- 10 ボンベの右側に設置したベルトストッパーと同様の手順で左側にも設置し、バックルをつないで完成です。

- ① DCバックルを開閉し、ベルトの長さを調整します。

- ② 左右のベルトをボンベに巻きつけ長さを調整します。

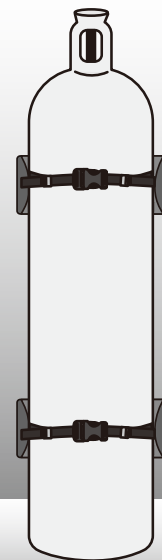


- ③ 丁度よい長さのところで樹脂バックルをつなぎます。



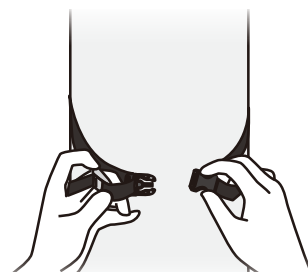
- 11 下部のベルトも同様の手順で取り付け完成です。

完成イメージ



取り外し方

- ① 樹脂バックルを外します。



- ② キャッチプレートを壁から取り外します。



左右にゆっくりと回すように取り外します。

マットが外れない場合

樹脂製ヘラを水で濡らし、設置面へ差し込みます。数回繰り返すと、取り外しやすくなります。
※耐震マットはがし剤も別売しています。詳しくはHPをご確認ください。